

佐藤議員（広志会）

平成 30 年 9 月 21 日
教育長 答弁実録
(教育委員会)

(問) 本県教育の基盤整備について (関連質問)

教員不足について、年度当初の時点で正規の教員をしっかりと採用していくことが重要だと思うが、どのように考えているか伺う。

(答)

年度当初に確保しておかなければ非常に難しいということは、私も校長時代にたくさん経験してまいりました。

年度途中で産休、育休、あるいは病気により休んだ職員が出ますと、教頭や授業の少ない生徒指導専任が授業を行うしかない。

私も、年度当初に確保が必要であると思っております。

今年も頑張るが、来年度に向けて、教育委員会において秘策、奇策も含めて検討しているところでございます。

今年のような形にならないようにするためには何ができるか、あらゆる手段を通じて、引き続き頑張ってまいりたい。

また、今年度の教員採用試験について、先だって倍率が出たが、去年と同じくらいの倍率でございました。

9月28日に最終合格の発表を行いますが、その中でも確保に向けて様々な検討をしてまいります。

とにかく頑張ります。